

# 図画工作科で活用する

## 本場面におけるポイント

### ● 絵や写真を生かした動機付け

気に入ったページや題材と関連するページの絵や写真を見て、思いを膨らませ、表現する意欲を高める。

### ● 表したいことを探すヒント

表したいことや作りたいものを探すときや、表す方法を考えるときのヒントにする。

### ● 感じる心を高める学習で

特に視点3「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」の内容のページを生かして、美しさを感じる心を大切にしようとする気持ちを高める。



### ● 感謝の気持ちを込めた絵カードを作る (第2学年)

1 題材名 かんしゃの気持ちをこめて絵カードをつくろう

2 ねらい

- ・材料を生かして、絵カードの表し方を発想し、思いのままに表そうとする。
- ・お世話になっている人に対して、感謝の気持ちを込めて表し方を工夫し、絵カードを作る。

3 展開の構想 (全4時間)

〈実施時期9月〉

子どもの意識と学習活動	教師のはたらきかけ
<p>どんな人にお世話になっているかな</p> <p>・お世話になっている人への気持ちを思い起こし、カードを作って贈ろうという気持ちを高める。</p>	<p>◆「心のノート」P.42～45の活用</p> <p>「ありがとう」という気持ちを伝えたい人を探るときにこのページを話し合いに生かす。</p>
感謝の気持ちを絵カードにして伝えよう	
<p>絵カードにどんな工夫ができるかな</p> <p>心の込められた絵カードを作ろう</p> <p>・立体カード、飛び出すカードの表し方を知る。</p> <p>・自分らしい工夫を考えて楽しく作る。</p> <p>みんなでカードを見合って楽しもう</p>	<p>◆紙や素材、表し方については教師の方でもヒントを用意しておく。</p> <p>◆心の込められた絵カードにするには、どんなことに気を付けて作るかを考えられるようにする。</p> <p>◆簡単な言葉を含める方法や、紙以外の素材を生かす方法など、楽しく作るための助言をする。</p> <p>◆実際に手渡す活動は事後に行う。</p>

### 4 「心のノート」活用の実際

子どもはいろいろな人にお世話になり、それぞれの人に様々な思いをもっている。授業の導入でその気持ちを引き出すために、1・2年用P.48～51「ありがとうをさがそう」のページを広げた。

そして「このページに「ありがとう」を表したい人がいっぱいいるよ。」と投げ掛けると、子どもたちがこのページに描かれた人以外にも、おじいちゃん、隣の家の人、通学路を守ってくれる人、お店の人など、次々と見つけ出した。さらに



1・2年用P.48～49

## 絵や立体に表すことの喜びや楽しさを高める

相手への感謝の気持ちを表す方法を話し合うことで、「カードを作って贈ろう」という気持ちが高められた。

特に、本題材は9月の「敬老の日」の頃に学習を設定しているため、祖父母への気持ちをカードにしたいと考える子どもが多く見られた。

### ● 美しい自然の雄大さを心いっぱい感じ取り作品に表す (第4学年)

1 題材名 木々を見つめて

2 ねらい

- ・身近にある木々を見たり触れたりしたことから表したいことを思い付く。
- ・用具のいろいろな扱い方を試し、木々の特徴を表すことができるよう工夫する。

3 展開の構想 (全6時間)

〈実施時期5月〉

学習活動の流れ	
第1時	木を見たり触ったりしながらその特徴を感じる。
第2時	描いてみたい木を選び、どのような視点をもって描くか構想を練る。
第5時	
第6時	自分の気持ちを話したり、友人の考えを聞いたりする。

「心のノート」を生かす工夫

◇木々も人間と同じような心や力をもっていると感じたことを振り返らせる。

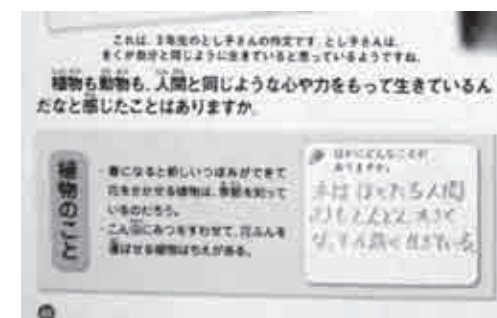
◇古くから人間は動植物と心を通わせながら生活してきたことを理解させ、自然に対する思いを深めさせる。

### 4 「心のノート」活用の実際

(1) 授業の導入として

3・4年用P.60～61「植物も動物もともに生きている」を用い、「木も人間と同じような心や力をもって生きていると感じたことはあるか。」と投げ掛けた。

子どもたちは「どんどん大きくなるよね。」「春になるときれいな花を咲かせるね。」など話し合いを通して、木の生命力や美しさに気付き、興味・関心を高めた。



3・4年用P.60

(2) 授業のまとめとして

友達の作品を鑑賞しながら、作品のよさに加えて木の生命力や美しさに関する内容を記していた。そこで、授業のまとめとして3・4年用P.62「人びとは、植物や動物といっしょに生きてきた」を開き、古くから人々が動植物とともに生活してきたことを語り、樹木をはじめとする自然を大切にしようとする気持ちを深めさせた。

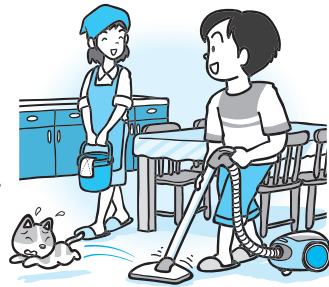


3・4年用P.62

# 家庭科で活用する

## 本場面におけるポイント

- **家族の一員としての役割を考える**  
家庭の仕事内容を理解するとともに、それに対して自分がどのように関わってきたか考えることができる。
- **自分の生活と自然環境との関わりを考える**  
家庭生活を取り巻く環境、特に自然への影響を考慮しながら、よりよい家庭生活を工夫して積極的に取り組むことができるようにする。
- **身近な人々との関わりを見つめ直す**  
自分の生活を支えてくれる人々の支えとその思いに気付くことで、感謝の気持ちを深めることができるようにする。



## ● 家族の一員として家族に協力しようとする (第5学年)

- 1 題材名 自分にできること 家庭の仕事
- 2 ねらい 家庭生活に関心を持ち、家族の一員としてできる仕事を考えたり、協力して仕事を分担したりする。

### 3 題材展開の構想 (全3時間) 〈実施時期 7月〉

学習活動の流れ	
第1時	家庭の仕事を分類し、自分ができ る仕事を考える。
第2時	家庭で実践してきた仕事について まとめる。
第3時	まとめたことを発表し、これから も続けていくために必要な工夫 や環境に対する配慮などを話し 合う。

#### 「心のノート」を生かす工夫

◇導入として電子黒板に5・6年用P.98を映し、これまでの自分と家庭生活のかかわりを振り返らせる。

◇学習のまとめとして、家庭生活と環境とのかかわり、自分にできる環境への配慮を5・6年用P.71への記入を通して考えさせる。

## 4 「心のノート」活用の実際

### ① 題材の導入として

5・6年用P.98「あなたは家で家族の手伝いをしていますか?」を電子黒板に映し、そこに示されている手伝いについて、どの程度実践しているか実態を把握した。

その後、家族の一員としてこれまでどのような家庭の仕事に取り組んできたかを話し合いながら、家庭の仕事の種類を分類した。

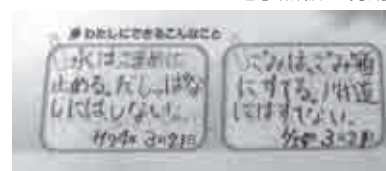
### ② まとめでの活用

「家庭の仕事をするときに、環境のために気を付けたいことはどのようなことか。」と投げ掛け、5・6年用P.71「わたしたちに何ができるのだろう」への記入を通して考えさせた。

その内容を基に話し合い、環境を考えた工夫をしながら、継続して取り組むこととした。



電子黒板の利用



5・6年用P.71の記入例

## 家族の一員としての役割を考えるきっかけをつくる

## ● 身近な人々との関わりを考え、感謝の気持ちを伝える (第6学年)

- 1 題材名 考えよう これからの生活
- 2 ねらい 自分や身近な人々の生活や環境との関わりに気付き、快適な生活の仕方を工夫することができる。

### 3 題材展開の構想 (全8時間) 〈実施時期 2月〉

学習活動の流れ	
第1時 第2時	身近な生活と環境との関わりや、生活の仕方を調べる。
第3時 第4時	調べたことをまとめ、発表する。
第5時 第8時	身近な人々への感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践する。

#### 「心のノート」を生かす工夫

◇5・6年用P.58へ記入させ、毎日の生活を支えてくれる人々とその思いを考えさせる。

◇5・6年用 P.59に記入させ、感謝の気持ちを伝えるために何が出来るか考えさせる。

## 4 「心のノート」活用の実際

### ① 子どもの思考を広げるために

「生活を支えてくれる人々」と問われて、子どもたちが考えるのは、学級担任や保護者である。しかし、自分の生活には多くの人々の支えがあることに気付かせたい。

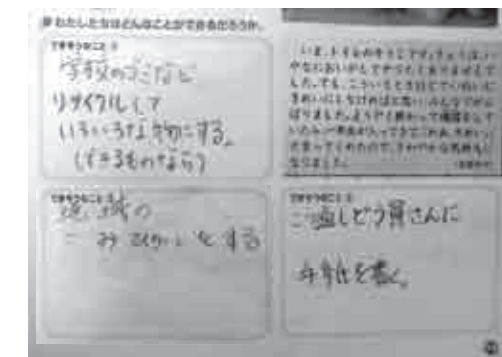
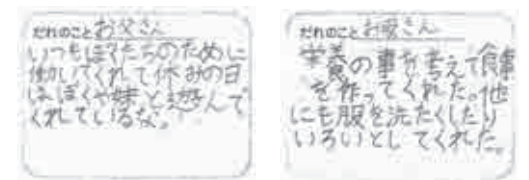
そこで5・6年用P.58「支えてくれる、その思いを感じよう」を基に、自分の生活を支えてくれる人々とその思いを考えさせた。

### ② これまでの自分を振り返る

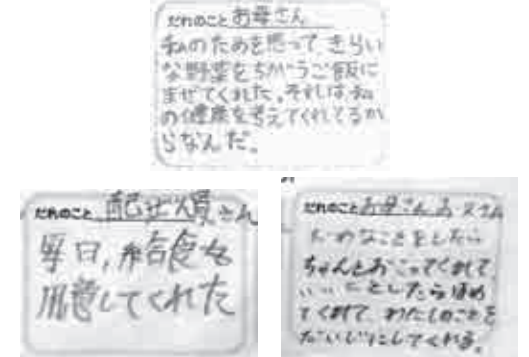
毎日の生活の中で多くの人の支えがあったことに気が付いた子どもたちに5・6年用P.56～57「「ありがとう」って言えますか?」を開かせ「普段から感謝の気持ちを表すことができているかな。」と問い、ボタンに触れさせた。そして、それぞれの理由について全体で話し合った。

### ③ 感謝の気持ちを具体的に表すために

支えてくれていることへの感謝の気持ちを表すための方法を考え、5・6年用P.59「その思いに、こたえよう」へ記入させた。その内容をその後の実践に結び付けた。



5・6年用P.59の記入例



5・6年用P.58の記入例